

=====
JBIC めるまが Vol.384 2026/1/8
=====

※今回のめるまがは JBIC めるまが登録者と、昨年度のプロジェクト成果
報告会へ申込みされた方にお送りしております。

■「プロジェクト研究成果報告会」開催のご案内(2026/3/4)

JBIC が令和 7 年度に実施しました 4 つのプロジェクトの研究成果報告会を
下記のとおり開催します。今年も昨年と同様に Webex を用いたオンラインでの
配信となります。

会員の皆様だけでなく非会員の企業の方や研究者の方、
学生や一般の方もご参加いただけますので、奮ってご参加ください。

【日時】 2026 年 3 月 4 日(水) 13:30-15:55

開催形式 Cisco Webex Meetings によるオンライン配信

【主催】 一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)

次世代天然物化学技術研究組合(N2PC)

【報告内容】詳細は下記ホームページをご覧ください(プログラム順)。

<<https://www.jbic.or.jp/news/event/2026/0304report-meeting>>

1.RNA 標的創薬技術開発／標的 RNA の機能解析・構造解析基盤技術開発

- ・「核磁気共鳴法による RNA 標的創薬技術開発」の成果

理化学研究所生命医科学研究センター生体分子動的構造研究チーム

嶋田 一夫

- ・「クライオ電子顕微鏡法による RNA 標的創薬技術開発」の成果

東京科学大学 総合研究院高等研究府 藤吉 好則

- ・「インシリコ技術による RNA 標的創薬技術開発：RNA 複合体構造予測」の

成果

一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム 福西 快文

2.福島医薬品関連産業支援拠点化事業に係る研究開発業務

- ・福島医薬品関連産業支援拠点化事業の進捗と今後

福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

家村 俊一郎

3.ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム(ゲノム医療実現推進

プラットフォーム・先端ゲノム研究開発)／ゲノム創薬基盤推進研究事業

[ゲノム研究を創薬等出口に繋げる研究開発プログラム]

・「マルチオーム解析によるがんゲノム医療の精緻化」の成果

東京大学 先端科学技術研究センター 油谷 浩幸

4. 発がんメカニズム解明と新規がん免疫療法等の研究推進

・「発がんメカニズム解明と新規がん免疫療法等の研究推進」の成果

東京都立駒込病院 戸井 雅和

【参加費】 無料

【参加登録】 参加登録は下記よりお願いいたします。

<https://www.jbic.or.jp/news/event/form/event_form>

受付期間 ~2026年3月2日(月)

=====

「JBIC 会員企業からのご案内」の項目を設けております。

JBIC 会員企業で掲載して欲しい記事がございましたら、ご連絡ください。

なお、掲載の可否については JBIC 事務局にて判断させていただきますので予め

ご了承ください。

●JBIC に関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。

<<https://www.jbic.or.jp/contact>>

=====

● 配信中止、変更はこちらから。

<<https://www.jbic.or.jp/news/mailmaga>>

=====

● 発行:一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム

JBIC めるまが編集部 <<https://www.jbic.or.jp/>>

=====

(c) 2026 Japan Biological Informatics Consortium